

YMSのSpire 夏期講習会は オンライン授業と対面授業が選べる！



オンライン授業 自宅での受講イメージ

YMSではZoomを使った
オンライン授業を配信しています。

パソコンやスマートフォン、タブレット端末があれば、自宅にいながら授業への参加が可能です。

- ※ 申込時にオンライン授業または対面授業を選択してください。
- ※ オンライン授業希望者には別途受講マニュアルを配付いたします。

ご不明点はYMSまでお問い合わせください。

お申し込みのご案内

学費

事務手数料 **5,500円**(税込)

1講座 **18,480円**(教材費 税込)
1コマ90分×4日間

- 受講講座数に関わらず、事務手数料として一律5,500円(税込)を申し受けいたします。
- 10講座以上お申し込みの場合、受講料が1割引きになります。
- 各講座お申し込み後のキャンセル・返金等はできませんので、日程をよくご確認の上、お申し込みください。
- 講座変更の場合は、変更手数料とテキスト代をいただきます。ご了承ください。

申込方法

- ① ホームページの申し込みフォームよりお申し込みください。別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送でも申し込み可能です。

- ② 定員確認後、「受講料のご案内」をメールいたします。受講前にお振り込みください。

- ③ ご入金確認後、確認メールを送信いたします。

- ④ お申し込みいただいた各講座のテキストは、ご入金確認後、準備が整い次第、配布いたします。

申し込み締切
各講座の初日開催4日前の17:00

この機会にぜひYMS Spire コースの学習環境を体験してください！



〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-37-14
TEL 03-3370-0410
FAX 03-3370-1308
<https://yms.ne.jp/>



医学部現役 合格に向かって飛躍の夏

夏期講習会 2025

対象
Spire
(中3生～高2生)

弱点科目を集中的に勉強したい、
部活動と両立して無理なく勉強したい...
そんな中学生、高校生ならではの様々な
ニーズにお応えします！

選べる オンライン受講/対面授講



日程		4限 14:15～15:45	5限 16:00～17:30	6限 17:45～19:15	7限 19:30～21:00
1 タ イ ム	7/21(月) 7/24(木)			英語 英文法・語法①(発展) 数学 2次関数	英語 英文法・語法①(標準) 数学 図形と方程式
2 タ イ ム	7/28(月) 7/31(木)		化学 反応速度・化学平衡 化学 物質・化学反応式	英語 英文法・語法②(発展) 数学 三角比と図形	英語 英文法・語法②(標準) 数学 三角関数
3 タ イ ム	8/4(月) 8/7(木)	数学 ハイレベル数学ⅡB	化学 酸塩基反応・酸化還元反応	英語 英文法・語法③(発展) 数学 場合の数	英語 英文法・語法③(標準) 数学 平面ベクトル
4 タ イ ム	8/11(月) 8/14(木)	数学 ハイレベル数学ⅠA	物理 力学① 生物 医学部受験攻略演習 ～「わかる」から「解ける」へ～	英語 英文読解①(発展) 数学 確率	英語 英文読解①(標準) 数学 空間ベクトル
5 タ イ ム	8/18(月) 8/21(木)		物理 力学② 生物 医学部最頻出分野攻略 ～免疫～	英語 英文読解②(発展) 数学 整数	英語 英文読解②(標準) 数学 数列
6 タ イ ム	8/26(火) 8/29(金)			数学 2次曲線	数学 複素数平面

※授業の教室については2F受付前の時間割にてご確認ください。

YMS Spire コースについて

YMS Spire コースは、通常授業、講習会ともに少人数の授業を展開しています。講師との距離が近く、質問・相談もしやすい環境です。その日の授業で分からなかったことは、その日のうちに解決できます。

全ての講座とも、学年による区分けはしていません。英語・数学の講座の対象学年はあくまでも参考にご覧ください。学校の進度、得意不得意によって、自分に合った受講講座を選択できます。

Spire 数学		
講座名	ターム	内容
2 次関数 (数学Ⅰ)	1	2 次関数の平方完成から最大値・最小値の場合分けの手順など、将来他の分野に出てても困らないように、基礎を定着させます。まだまだ、不安定なところがあると思っている人は是非受講してください。
図形と方程式 (数学Ⅱ)	1	大問での出題率は数学Ⅱ最大の分野であり、短期間の集中的な学習で大幅な得点力アップが望めます。この講座で扱うのは、今まで習った計算ではやりにくい、点と直線の距離の利用、円束の問題、最大値・最小値問題、領域を用いた問題などです。なぜ今までの計算ではいけないのか、この解法にした方がよいのかなど、解法の選択も考えさせます。
三角関数 (数学Ⅱ)	2	三角関数は入試において最頻出単元と言っても過言ではありません。数学Ⅲの微分積分でも当たり前のように三角関数の知識が要求されます。したがって、三角関数の知識を手足のように使えるレベルにならなければ入試を突破できません。この講座を受講して三角関数を深く理解し、得意な単元にしましょう。
三角比と図形 (数学Ⅰ)	2	$\sin \theta$ 、 $\cos \theta$ 、 $\tan \theta$ の計算、正弦定理・余弦定理・三角形の面積公式・内接円の半径の問題を取り扱います。図形の計量問題は苦手という人も、短期間の効率的な学習で得意分野に変えられます。「今までより一問分多く点をとる」をこの講座で体験してください。三角比の定義を確認してから講義に臨みましょう。
ハイレベル数学ⅡB	3	前期の Spire 数学Ⅱ B・JK で扱った単元（主に図形と方程式・三角関数・数列）から実際の入試で出題されるレベルの問題を扱い、それを通して実力を入試レベルに引き上げ、絶対の自信をつけてもらうことを目標とします。特に、図形と方程式・三角関数は入試では得点源とすべき単元であり、この夏に一気に受験レベルへと飛躍しましょう。
場合の数 (数学A)	3	大学別の「可否を分けたこの一題」で必ず多数の大学で出てくるのが「場合の数・確率」の問題です。「あの問題さえ解けていれば…」と受験生を悔しがらせる分野で、医学部でも頻出です。この分野はダラダラと長期間やっても効果はないので、確率の講座と合わせて短期間で集中的かつ効率的に学んでしっかりとものにしてください。
平面ベクトル (数学B)	3	大問による出題が多く、可否を左右する分野です。この機会に徹底的に理解・演習し、確実な得点源としてください。ベクトルは未習もしくは途中までという人にも十分対応できるよう基礎事項から導入し、入試問題レベルに引き上げます。
確率 (数学A)	4	この講座は、場合の数の講座と続いている講座です。確率の問題のうち 80％ は場合の数の問題で解けます。「場合の数」で学んだ内容の応用の仕方を学び、確率の問題に自信をもてるようになります。高 2 生も是非受講してください。「場合の数」の講座とセットで受講することをおすすめします。
空間ベクトル (数学B)	4	平面は大丈夫だけど、空間になるとちょっと…という人が例年多く見られます。平面と違って図的視覚化が難しい部分はありますが、考え方をしっかり身につければ苦手意識はなくなるはず。この講座をきっかけに得意分野に変えてください。平面ベクトルの基礎知識さえあれば、空間は未習という人も歓迎します。
ハイレベル数学ⅠA	4	入試頻出単元である二次関数・三角比・場合の数・確率から実際の入試で出題されるレベルの問題を扱い、この講座を通して数学Ⅰ A の実力を入試レベルに引き上げることを目標とします。特に、数学Ⅱ B・Ⅲの勉強がメインの高校 2 年生はこの講座で数学Ⅰ A の復習をし、受験に向けてしっかりと備えましょう。
整数 (数学A)	5	最近の入試において、ますます出題比重が高まっている整数問題は、典型問題の解法を覚えることで対応できます。一度習っても忘れてしまう人が多いこの分野は、体系的にしっかりと学ぶことが大切です。やれば必ず成績が上がる分野なので、未習の人も既習の人もぜひチャレンジしてください。
数列 (数学B)	5	医学部数学の頻出分野の 1 つです。数学Ⅲの導入、極限とも密接な関連があり、数列の攻略なくして医学部入試の成功はあり得ません。学校の進度の都合で未習の人や苦手な人は、この機会に是非数列に打ち込んでみてください。
2 次曲線 (数学 C)	6	2 次曲線は 2 次式で表された曲線のことです。入試で頻出の楕円、双曲線、放物線を主に扱います。『三角関数』と『図形と方程式』を履修していることを前提とします。つまり、高 2 生であれば、この講座を受講することができます。また、2 次曲線の問題では、三角関数や 2 次方程式の判別式などが頻繁に出てくるため、数学Ⅰ 数学Ⅱの知識の定着にも繋がります。
複素数平面 (数学 C)	6	複素数平面は、数学Ⅲ微分積分と並ぶ入試のメイン単元になります。『三角関数』の知識は必須で、『平面ベクトル』を履修していることが望ましいです。複素数平面は覚える知識もそれほど多くなく、数学Ⅱ『複素数と方程式』の延長のようなものという感覚で問題ありません。高2の夏という早い段階で学習することで、ライバルに差をつけましょう。

Spire 英語				
講座名		ターム	内容	
英文法・語法	発展 (高2生向け)	1	① 四択問題中心	一通り英文法を学んである人向けの講座です。実際の入試問題を題材に、実践力を養成します。
		2	② 書き換え、整序問題中心	
		3	③ 誤文訂正、作文問題中心	
	標準 (中3・高1生向け)	1	① 動詞・時制	まだ英文法の基本事項に自信のない人向けの講座です。分野別に文法問題の考え方から伝授します。特に、体系的に理解の必要な「動詞と文型」「時制」「準動詞」「関係詞」の分野を集中的に扱います。
		2	② 準動詞	
		3	③ 関係詞	
英文読解	発展 (高2生向け)	4	① 空所補充問題、下線部和訳問題中心	英語を得意科目にしたい人向けの講座です。実際の入試レベルの問題を用い、読解問題を解く実践的な力を養成します。
		5	② 指示語内容説明問題、内容把握問題中心	
	標準 (中3・高1生向け)	4	①、②ともに構造分析、下線部和訳問題、内容一致問題の解法	英文の構造を正確に分析し、正しく文意を把握する方法を伝授します。下線部和訳から内容一致問題に至るまで、正答に辿り着くためのプロセスを丁寧に分かりやすく解説します。
		5		

Spire 化学		
講座名	ターム	内容
反応速度・化学平衡	2	※注意：『化学基礎』全般、『化学』熱化学を学習済みの人が対象です。未習では参加できません 『化学』反応速度と化学平衡を中心に学習します。深い理解を求められる分野であり、高3生や高卒生でも苦手とする人が多い分野です。特に、平衡という概念は化学の様々な単元に登場する重要な概念です。今のうちに、基礎からしっかりと理解することで、他の単元もクリアになってきます。この夏でライバルに差を付けよう！
物質質量・化学反応式	2	物質質量（モル）は化学計算の根幹をなす概念であり、これを完全に理解するだけでなく、徹底的に使いこなせるように演習しておくことが求められます。これを化学反応式と組み合わせることにより、量的関係を求められるようになります。医学部入試においては、短時間で正確に計算を求められる場面が多く、単に答えが合っていればよいというわけにはいきません。 そこで、本講座では物質質量の概念を計算問題に着実に適用できるようにするだけでなく、できるだけ効率的かつ一般性のある解法を提示し、それを身につけてもらうことを目標にしました。さらに、化学反応式を作る練習をすることで、学習した単元の復習もできるように配慮しています。化学を得点源にしたい、やる気のある Spire 生の参加を心からお待ちしています！
酸塩基反応・酸化還元反応	3	※注意：『化学基礎』酸塩基・酸化還元を学習済みの人が対象です。未習では参加できません 酸塩基や酸化還元について、医学部入試で重視される項目に対する理解を深めます。入試がどのようなレベルで、どれだけの実力をいつまでに付けなくてはならないかということが、受講によって明らかになると思います。「化学基礎」では化学の根幹をなす概念を扱っています。より深く理解して、今後の受験勉強に生かせるように配慮します。

Spire 生物		
講座名	ターム	内容
医学部受験攻略演習 ～「わかる」から「解ける」へ～	4	医学部受験において生物で高得点を取るためには問題演習が欠かせません。生物は、知識の暗記やノート作りに時間を取られてしまい、演習量が不足しやすい科目ですが、実際に問題を解く力を身につけるためには良質な問題演習を行う必要があります。早い段階で実際の入試レベルの問題に触れることで、目標とする学力が明確になり、その後の学習に大きな差がつきます。この講座を通じて生物を得意科目にして受験で優位に立ちましょう。
医学部最頻出分野攻略 ～免疫～	5	生物基礎における医学部最頻出分野である「免疫」を攻略します。人体に関する分野でもあるので医学部入試では他学部にならべてやや深い内容まで問われることのある分野です。基本的な内容から一気に医学部入試レベルまで引き上げていくような講座になるので Spire 生に適した講座になります。

Spire 物理		
講座名	ターム	内容
力学①	4	『物理基礎』の力学を中心に扱い、さらに『物理』の力学にも触れ、受験を見据えた学習を進めていきます。 力学①：等加速度運動、落体の運動、力のつり合い、剛体のつり合い、運動の法則
力学②	5	力学②：仕事と力学的エネルギー、運動量と力積